

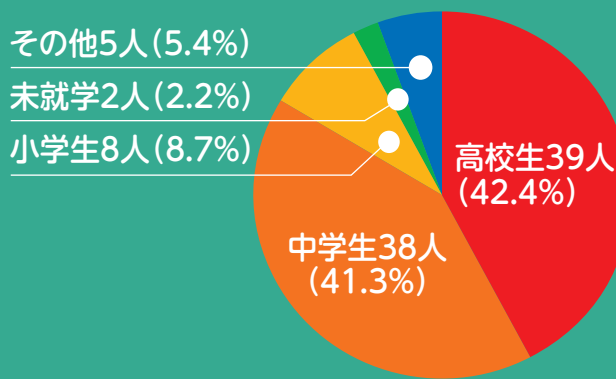
SNS上で子どもが狙われる 児童ポルノ事犯などの 深刻な性被害が増加中

○児童ポルノ事犯の被害児童は**中高生で83.7%***

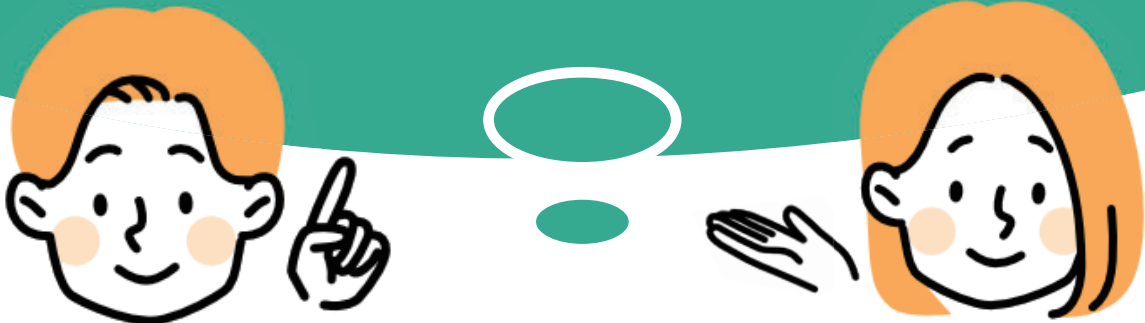
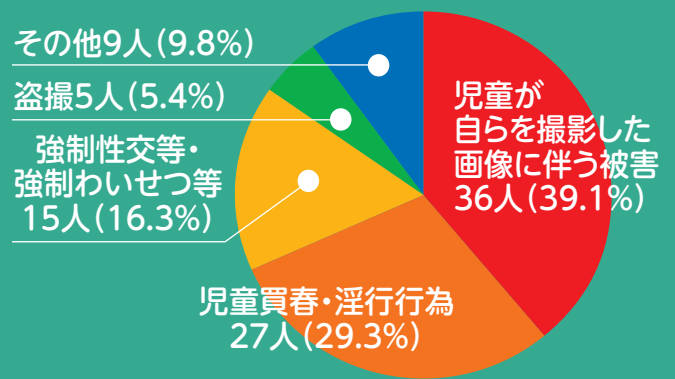
○被害内容は**児童が自撮りした画像に伴う被害が39.1%***

※令和4年愛知県警での認知

被害児童の年代(令和4年)



被害児童の被害内容(令和4年)



藤田医科大学医療科学部の学生が SNS児童性被害防止アプリを発案。

増加しつづけるSNSでの自撮り画像被害。

10代の4人にひとりが性的な自撮りを他人に送った経験アリというデータもあります。

被害や事件は特別なケースではなく、SNSを使う何気ない日常に潜んでいます。

何とかして被害を未然に防ぐことはできないか…?

大学生は子どもとおとなの真ん中世代。

子どものキモチ、おとなの視点の両側面から

様々なアイデアを出し検証を重ねて

画像検知システムを利用したスマホアプリの実装化を実現しました。

SNSを楽しく使うため、そして

自分のココロ、カラダ、ミライを守るために。

このアプリの話をきっかけに

自撮り被害について親子でお話ししていただければ嬉しいです。



大学生が子どもの自撮り被害撲滅のために立ち上がった!

アルバムに残せない自撮りは送らないこと。

子どもは悪くない。大人でもSNSで出会う人がイイ人か悪い人か見分けることはできない

心掛けたのは子どもと保護者の気持ちに寄り添う開発

子どもを叱ると、相談できなくなっちゃう…

子どものプライバシーと心身を守るシステムにしよう!

わいせつ画像の検知機能の精度を上げないと!

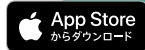
子どもを被害者にも加害者にもさせない!

“送る、を止めれば”
“未来、は守れる”

コドマモ

子どものわいせつな自撮りをAIで検知

ダウンロード無料



Adora株式会社

コドマモの
POINT!

1. プライバシー保護
2. オリジナルの画像認識AI
3. どんなカメラアプリにも対応

コドマモの仕組み

わいせつな自撮りが撮影されたら…

わいせつな自撮りをAIが自動感知

子どもに削除を推奨

親のスマホにもすぐに通知

コドマモに期待される効果

犯罪を減らす抑止力に

親子の対話を促進する仕組み

子どもが加害者になることを予防

学校配布の学習用タブレット端末にインストールすることで、学校内の性的な自撮り・盗撮を防ぐことができます

自撮り画像被害防止アプリ 「コドママ」がパワーアップ!

子ども&保護者がいつでも安心な 2つの新機能!

“使いすぎててヤバイ” “止めたいのに止められない…” “時々怖いチャットが来る…”など子ども自身も「スマホ依存」や「スマホトラブル」を不安に思っている、というデータがあります。

またSNSや動画の長時間利用で学力テストの成績が低下する傾向にあることも文部科学省の調査でわかっています。

スマホを安全で便利なツールとして長く使うため、コドママの2つの新機能が親子のスマホライフをサポートします!

1 スクリーンタイム設定

子どもが利用しているどんなスマホアプリでもスクリーンタイム(利用時間)をカンタンにコントロールできる機能です。保護者側でスクリーンタイムをあらかじめ設定すると設定の時間に子どものスマホアプリが自動的にブロックされて使えなくなります。



2 危険チャットcare機能 2024年内に実装予定

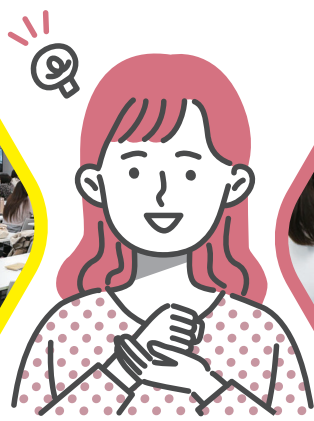
子どもが利用しているSNSやDMなどチャット上のやりとりを見守る機能です。個人情報の流出やいじめ、犯罪に巻き込まれていないかAIが自動チェックします。大きなトラブルに遭遇しても経験値の少ない子どもには善悪の判断や解決策を見つけることは難しいため、検知を把握することで子どもの心身のケアに役立ちます。



アントレプレナーシップ※を学ぶ
藤田医科大学の学生が開発!

自撮り画像被害防止アプリ
「コドマモ」は多くの反響を
頂いています。

学生のうちからマネジメントやビジネスの領域に触れ、
幅広い視点から、働く環境と自身のキャリアデザインに
つなげる授業が行われおり、
アプリ開発もその中で生まれました。



愛知県警察から感謝状

※アントレプレナーとは“自ら会社や事業を立ち上げる”「起業家」の意味。

藤田医科大学でのアントレプレナーシップ教育は2020年より大学院にて、さらに2022年度より大学の医療科学部で「キャリアデザインとアントレプレナーシップ」科目が導入され、起業だけでなく、学生が自ら将来のキャリアを考える機会を提供。「インターンシップ」科目とも連動させ、より実効性のある教育機会へ底上げを図っています。



愛知県では市立中学校や私立高校などで
学生・保護者のために
コドマモの導入が広がっています。

“子どもを守りたい、という強い思いから
産官学の連携で始まったプロジェクトです

児童による性的な自撮り被害が増える中、愛知県警察が2021年秋に被害防止策について
起業家を育成するプロジェクト団体「Tongali」に相談。
社会課題解決を講義でも扱っていた藤田医科大学が名乗りをあげ、計画が始まりました。



愛知県警察

プロジェクト全般について

藤田医科大学 産官学連携推進センター

TEL. 0562-93-9866
Email san-ren@fujita-hu.ac.jp

アプリ開発について

Adora株式会社

TEL. 050-1808-0466
Email contact@adora-app.com
https://www.kodomamo.com/

犯罪対策等について

愛知県警 警察本部 少年課

TEL. 052-951-1611 (代表)